

2021年2月3日

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

生着 20 年以上の腎移植レシピエントの臨床的検討

[研究責任者]

腎臓移植外科 藤原拓造

[研究の背景]

腎移植の短期の臨床成績は向上していますが、長期の成績に関してはまだはっきりと定まっていないのが現状です。しかしながら、当院を含め我が国の腎移植施設も長期に移植が生着している患者さんは増えています。

[研究の目的]

20 年以上移植腎が生着している方の移植後臨床経過、主に移植腎機能の変化に関する項目を検討することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1988/11/1～2000/8/31 の間に当院で腎移植を行い、当院に外来通院し 20 年以上移植腎が機能した患者さんが対象です。30 名の方が該当しました。

●研究期間

2021 年 2 月 28 日より 2022 年 8 月 31 日までの予定です。

●カルテ情報

以下の情報をカルテより収集し、献腎移植 1 年目の腎機能に関する項目を検討します。

移植時の年齢、性別、腎不全の原因疾患、移植前透析期間、HLA ミスマッチ数、サイトメガロウイルス抗体価、ドナー年齢、ドナー性別、ドナータイプ（生体、献腎）移植後 1 年以内の急性拒絶反応、サイトメガロウイルス感染症の発症、移植後の移植腎機能（eGFR）の推移（初回退院時、1,5,10,20 年後）、心血管疾患・悪性疾患の発症、抗 HLA 抗体検査、移植腎生検の病理所見 等

●検体や情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第56回日本移植学会で発表しますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

腎臓移植外科 藤原拓造

電話 086-294-9911 (代表)      FAX 086-294-9255 (代表)